

宮代町プロジェクト CF ニュース NO.2

2022年11月30日発行

NPO 法人再生可能エネルギー推進協会

第2号概要

11月8日は442年ぶりの天体ショー「皆既月食+天王星食」でした。多くの皆様が観察され、感動されたことでしょう。




ここ宮代プロジェクト（脚注1）のメタン発酵装置も、小中学生から、社会人、熟年者等幅広い多くの方々が来られ、観察し、理解を深められ、感動されていました。

今回は、小中学生の団体であるエコ☆スタさん、得られた液肥（第1号参照）をしっかり吸収したかぼちゃを使ったハロウィンイベント、メタン発酵システムを普及させるためのバイオガスマイスター研修初級講座、川田龍平参議院議員との「持続可能な有機農業とは」対話会などが行われました。

CFの活用について

上記イベントのため、またメタン発酵装置の、設備改良、点検・保守等の為CFを利用させて頂きました。

クラウドファンディング資金 使用品目		
科目	用途	
用品	園芸用ビニールハウス	メタンガスバルーン、液肥を保管する格納設備
	ガスコンロ・ポンプ・ガス配管用品	屋外実演用品 現地イベント開催時に使用
	屋外調理テーブル用木材	屋外実演用品 現地イベント開催時に使用
	メタンガス貯気用バルーン	メタン発酵装置より回収したメタンガスを格納する容器
	液肥保管容器	メタン発酵装置より回収した液肥保管容器

		
☺ バイオガス、液肥格納用ハウス.jpg	☺ 屋外調理用ガスコンロ・ポンプ.jpg	☺ 貯気用バルーン.jpeg

エコ☆スタ Let's 地産地 show cooking!! 「MIYASHIRO エコ☆スターズ」

エコ☆スタさんは、地元宮代町を拠点にして地球環境について真剣に考え行動する小・中・高校生たちのグループで 2010 年から多くの活動を展開されています。当協会のみやしろ SGD's プロジェクト「顔の見える地産地消の食とエネルギーづくり」も、プロジェクト発足当初からこのグループを応援しております。

10月23日、昨年度に続き2回目の開催となる「MIYASHIRO エコ☆スターズ」との共催による Let's 地産地 show cooking!! イベントが埼玉県宮代町の蛭田農園に設置したメタン発酵設備横で開催されました。

エコ☆スターズメンバー7名及びサポーターが参加し、これまでに投入した家庭から出た野菜くず等を原料とし、メタン発酵装置で回収したバイオガス（メタンガス）を燃料として使い、現場にて地元食材、及び液肥を肥料として立派に育った野菜を用い調理を行い、皆で昼食会を行いました。今回はお米の炊飯にもチャレンジし、1升のご飯も上手に炊け、皆で美味しく頂く事が出来ました。

私たちが日ごろ何気なく捨てている台所等の野菜くず等の家庭ごみが、メタン発酵装置でエネルギーに再生される、「食とエネルギーの循環」を、身をもって体験することが出来ました。イベントでは、宮代町長・新井様、教育委員会教育長・中村様、環境資源課長・伊東様、教育委員会・鶴川様をゲストとしてお招きし昼食後にご感想・ご講評を頂きました。

本団体は「SDGs KYOTO TIMES」 <https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/> の「ピッチトーク」参加団体の一つとして発表しました。

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/3575/>

第6回京都大学超 SDGs シンポジウム | 05 万博に向けたレガシーづくりプレスト大会 発表動画

<https://www.youtube.com/watch?v=tQvoZkdl3R0> (55分頃から約5分間)



屋外調理台を前に全員集合



昼食の準備



6品目の昼食 (竹筒弁当)

『ハロウィンかぼちゃ作品コンテスト 2022』

みやしろ SDGs プロジェクト（宮代町プロジェクト）「顔の見える地産地消の食とエネルギーづくり」では、例年ハロウィンイベントとしてかぼちゃ作品コンテストを開催しております。今年はハロウィンかぼちゃ作品、かぼちゃ EMOJI 作品、かぼちゃと枝のアート作品（今回新たに加えた部門）の3部門で、『ハロウィンかぼちゃ作品コンテスト 2022』として10月1日～10月31日の間で開催しました。審査の結果、各部門で下記の方の作品が最優秀賞、優秀賞となりました。

（名前はニックネームです）

部門1 ハロウィンかぼちゃ作品コンテスト

最優秀賞：とんがりファミリー、しまこ

優秀賞：結尻、かなみ

部門2 かぼちゃ EMOJI 作品コンテスト

最優秀賞：たれちゃん

優秀賞：みーちゃん、なゆん

部門3 かぼちゃと枝のアート・作品コンテスト

最優秀賞：シユン

優秀賞：ひでさん



ハロウィンかぼちゃ作品コンテスト2022
応募作品・入賞作品・講評 ビデオ

<https://youtu.be/y-8x41KkyZg>

詳細は【ハロウィンかぼちゃ作品コンテスト 2022】結果発表 YOUTUBE を参照下さい。

宮代町蛭田農園のかぼちゃの収穫

当協会と協働している蛭田農園さんの、不耕起栽培（脚注2）で育てられたかぼちゃが収穫され、ハロウィンイベント用の材料として提供されました。下の写真をご参照下さい。



かぼちゃ畑



収穫されたかぼちゃ

バイオガスマイスター研修講座

昨年度に引き続き、メタン発酵を理解する際に知識的基盤となる事項を解説する「第2回 基礎的知識研修講座」を、11月8日に埼玉県宮代町日本工業大学キャンパスにて開催しました。参加者は、学生14名と、教職員5名、その他オフラインでのe-ラーニングで1名の参加がありました。

今回受講された方々には、理解度テストとしてのオンライン認定試験を受けていただきました。ご興味のある方には基礎的知識研修講座資料ならびに理解度テスト問題をお送り致しますので事務局までご連絡下さい。



佐藤茂夫 理事



第2回 初級講座 (2022年11月)

なお、11月17日(木)には、小規模バイオガスプラント製作技術の実技実習として中級講座が予定されておりましたが、急きょ講師の都合で延期させて頂きました。受講生関係者の方々にはご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。開催日は調整の上12月15日(木)の予定で、講座内容はかなり実際の装置の設計・製造に関する項目です。ご期待ください。別途メールにより参加希望者を募ります。

「持続可能な有機農業とは」対話会

川田龍平参議院議員と語る会は、11月10日(水)に宮代町のコミュニティセンターに於いて有機農業に関心を持つ市民約70名が集り新井宮代町長や行政担当者も交えて開催されました。当協会からは、佐藤茂夫理事、蛭田農園の蛭田秀人氏(宮代PJで協働している人です)がパネリストとして参加しました。

川田議員の活動報告では、2018年の種子法廃止(民間参入を目的とする規制緩和)で米

バイオガスマイスター研修講座

第2回 A:基礎的知識研修コース

日時:2022年11月8日 17:00-18:00

会場:日本工業大学 応用科学科棟・会議室(E24-317室)

- 内容
- (1)太陽エネルギーの貯蔵庫としてのバイオマス
 - (2)無機物から有機物を合成する植物の仕組み
 - (3)栄養分の消化と加水分解酵素
 - (4)微生物の働き
 - (5)嫌気性発酵の種類と特長
 - (6)メタン発酵

特定非営利活動法人:再生可能エネルギー推進協会
<http://www.repa-npo.com/>

バイオガスマイスター研修講座

B:装置技術研修コース

日時:2022年12月 日 15:00-17:00

会場:日本工業大学 スチューデントラボ

- 内容
- (1)メタン発酵装置の機能と設計
 - (2)200L型メタン発酵設備概略図
 - (3)発酵槽の構造と部品
 - (4)発酵槽の機密性(投入口)
 - (5)発酵槽の機密性(消化液自動放出口)
 - (6)バイオガスの特性
 - (7)ガス配管に関する注意事項
 - (8)ガス貯留バルブの製作と安全装置

特定非営利活動法人:再生可能エネルギー推進協会
<http://www.repa-npo.com/>

や麦の種子が公的保護を失ってしまった問題、また今年施行された改正種苗法では農家の自家採種の権利が失われる恐れがあることが解説され、在来種のタネを守り、持続可能な地域の食システムの導入を促進するために、目下取り組んでいるローカルフード法導入（地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律案 <https://localfood.jp/>）への思いについて語っていただきました。地域での有機農業や有機食材給食を農家や市民の協働で進め、市町村が主体となって条例化に結び付けていくことが、食の地域循環システムを実現するためにたいへん重要と強調されました。次に登壇した杉戸町で農業法人アールキューブエコを経営する網本朝香さんは、コメ農家として良質な有機農業技術を志向し実践している成果を多くの写真で紹介しました。また蛭田農園の蛭田秀人さんは、農薬や化学肥料を使わず、有用微生物を活用した農法と不耕起栽培で「（野菜の）病気に負けない健康な野菜」づくりにかける意義と情熱を熱く語られました。続いて佐藤茂夫日本工業大学名誉教授（REPA 理事）からは、これまで関わってきた各地の地域型メタン発酵プロジェクトの成果と、蛭田農園での実験の様子に加え、REPA が日工大と共催しているバイオガスマイスター養成講座の紹介がありました。佐藤理事は、持続可能な農業を地域近隣で協力して広め、安全が保障される農と食の循環を次の世代に残していくことこそが我々世代の責任であると改めて強調しました。引き続き佐藤理事のファシリテーションで座談会が進められ、最後は、持続的で良質な有機農業を育て広めていくために、関心を持つ地域の市民の参加と支援が最も重要という相互理解を改めて会場で共有し終会となりました。



川田龍平参議院議員の活動報告



佐藤理事の宮代町 PJ の成果報告



佐藤理事の宮代町 PJ の成果報告

脚注 1 宮代町プロジェクトの概要

埼玉県宮代町を拠点として、宮代みやしろ SGD's プロジェクト（宮代町プロジェクト）「顔の見える地産地消の食とエネルギーづくり」を展開して 4 年目に入りました。この間、活動は宮代町に手造りメタン発酵バイオガス化設備を設置し野菜くず・食品残渣の処理が出来るようにし、この設備を地域住民（高齢者と障がい者を含む）や学生が管理運転出来るよう進めています。REPA はメタン発酵処理基礎知識と管理運転技術の研修やバイオガスマイスター（商標登録申請中）認定などの仕組みをつくり展開をしています。



また地域で地元と協力して、各種イベントを通じて、地域の農家、レストランシェフ、消費者の顔の見える関係を創出しております。

脚注2 不耕起栽培

不耕起栽培（Nontillage cultivation, No-till farming）とは、農地を耕さないで作物を栽培する、作物の栽培方法の一つ。最近では世界各国で普及している。不耕起栽培のおかげで、有用な菌類が豊富な表面数十センチの土壌が失われてしまう事態を防げており、新たな作物に肥沃な土壌と水分を提供できている事例もあります。環境保全の立場から、国連食糧農業機関（FAO）なども支援する農法だと言われています。[不耕起栽培 - Wikipedia](#)

本報告に関するお問い合わせは以下 URL にお願ひ致します。

[ご連絡／お問合せ \(repa-npo.com\)](http://repa-npo.com)

事務局：尾園、保坂